太鼓櫓

この頑丈に強化された櫓は、城の東側を守る。1599年頃に完成し、姫路城で現存するもっとも古い部分の1つである。「太鼓櫓」と江戸時代（1603-1867）に名付けられたものの、実際は見張り役の詰め所として使用された。現在の呼称はこの櫓が太鼓を保管しておく場所として使われていた1800年代後期に生まれた。